

平成 28 年度 県立麻生養護学校 不祥事ゼロプログラム

麻生養護学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

麻生養護学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。

総括教諭は校長、副校長、教頭を補佐し、推進する。

2 目標及び行動計画

①法令遵守意識の向上

目標 ・公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底

行動計画 不祥事防止研修で神奈川県職員行動指針や法令の認識を深め、日頃から教育公務員としての職責を自覚し公務外非行防止の徹底を図る。職員相互のコミュニケーションを大事にし、風通しの良い職場づくりを推進する。

②わいせつ・セクハラ行為の防止

目標 ・児童生徒の人格を尊重した指導を行う。

行動計画 わいせつ・セクハラに関する校内研修を学部・学年単位で討議を実施し、児童生徒の人格・人格を尊重した指導の徹底を図る。

③体罰、不適切な指導の防止

目標 ・人権尊重に根付いた指導を行う。
・児童生徒の実態にあった指導を徹底する。

行動計画 体罰、不適切な指導防止に関する研修を学部・学年単位で討議を実施し、体罰は決して行ってはならない行為であることの理解を深め、児童生徒の実態にあった指導を徹底する。また、一対一での対応ではなく、複数での対応など、意識啓発や体制づくりに取り組む。

④成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係わる事故防止

目標 ・電子データ及び紙ベースの適正な管理を行う。
・複数による相互チェック体制を構築する。

行動計画 個人情報を含む電子データの取り扱いについて、年度当初に新転任者に研修を実施する。また紙ベースの作成について、記載内容を複数でチェックをし、保管管理が適正に行われているか定期的に点検する。

⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

目標 ・個人情報等の管理、情報セキュリティ対策を徹底し、事故防止を図る。

行動計画 7月に対策重要度、情報セキュリティに関する校内研修を実施する。年度始め、年度末に教職員の個人情報登録状況の確認を行う。

⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標 ・法令遵守と安全運転の実施で交通違反や事故のない職場を目指す。

行動計画 交通事故の事例を基に学部・学年単位で討議を実施し、交通法規の遵守及び交通事故防止について意識啓発を行う。

⑦業務執行体制の確保等

目標 ・情報共有、相互チェック体制、業務協力体制の構築により、不祥事を未然に防止する。

行動計画 連絡帳、配布物等ダブルチェックを行い、間違っって配付されないようにする。文書保管等の規則に基づいて誤破棄がないようにする。起案行為については初任者、若手職員等に管理職が個別指導を実施し理解を図る。

⑧会計事務等の適正執行

目標 ・公費、私費会計等に関する事故を未然に防止する。

行動計画 私費会計の手引きをもとに会計事務処理研修会を実施し、会計処理の理解を進め、事故防止を図る。会計フォルダを私費会計担当者と所轄グループリーダーが年間4回点検する。